

かもう公民館 図書室だより

2020年 5月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

5月 鯉のぼり



鯉のぼりは江戸時代に始まった風習で、神様に男の子の誕生を知らせ「この子を守ってください」とお願いするための目印として掲げられていました。江戸時代は和紙、大正時代は綿で作られていました。鯉は出世の象徴で、「登竜門」という言葉は、鯉が滝を登り切って竜になったという故事から生まれています。(参考資料「大切にしたい、にっぽんの暮らし」)

今月の展示コーナー

【子どもの読書週間】

「ひととどうぶつ」をテーマにした本や、図書館と学校給食のコラボ企画「ものがたりレシピをいただきます！」に関する本を展示♪



●5月カレンダー

休室日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開室日：火～日曜日

(月曜・祝日は休室)

開室時間：9:00～17:00

(12:00～13:00は休室)

貸出冊数：8冊(うち紙芝居2点)

貸出期間：15日間

その他

【学ぼう感染症】

感染症の歴史や性質について学べる本を展示。

【おかあさんの絵本】

5月10日は母の日。お母さんの絵本を展示。

今年のコラボ給食は
「イワシ」と「美雨 13歳の
しあわせレシピ」から登場♪



新着図書のご案内

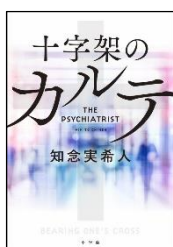
※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ

<http://lib-aira.jp/>

「十字架のカルテ」

知念実希人 著



正確な鑑定のためにあらゆる手を尽くす、日本有数の精神鑑定医・影山の助手に志願した新人医師・弓削。犯罪者の心の闇に対峙する医療ミステリー。

ベスト、天然痘、インフルエンザ。伝染病はどこから広がり、人類はどのように対処してきたのか。専門用語を使わず、20の感染症をやさしく解説する一冊。



「ビジュアル
パンデミック・マップ」
サンドラ・ヘンペル 著

「もしものせかい」

ヨシタケシンスケ 著



大事なものを失ったとき、思いがけない別れが訪れたとき。心にぽっかり空いた穴は、どうやって埋めたらいいんだろう... 何度も読み返したくなる、優しい絵本。

一般書

「始良市誌史料 八」
「実像」
「ありのままがあるところ」
「幸せな習慣」
「しじりから学ぶ13歳からのスマホルール」
「猫君」
「妻が願った最期の七日間」

始良市教育委員会
秋山千佳
福森伸
内田彩仍
島袋コウ
畠中恵
宮本英司

児童書

「まめざらちゃん」
「こころ(金子みすゞ詩集)」
「日本の歴史人物悪人?事典」

あさのますみ
金子みすゞ
河合敦

2020年 本屋大賞が決定!



大賞

「流浪の月」 風良ゆう 著

再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲を巻き込みながら疾走を始める。名前のない新しい人間関係への旅立ちを描いた、息をのむ傑作小説。

※貸出中の際は、予約を
することができます。

【本屋大賞】—「全国書店員が選んだいちばん! 売りたい本」をキャッチコピーに、書店員が読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び、投票して決定される賞。



感染症対策に関するお願い

新型コロナウイルス感染症予防のため、ご来館の際はマスクを着用していただくなど、ご自身の健康管理にご留意ください。また、発熱(37.5度以上)・咳等の症状が見られた時や体調の優れない場合は、施設のご利用を控えるなど感染拡大の防止にご協力をお願いします。なお、公民館玄関と図書室入口に消毒用アルコールを設置しておりますので、どうぞご利用ください。

※予定していたおはなし会や催し等、やむを得ず中止や延期、内容変更を行う場合があります。
あらかじめご了承ください。

